



筑後市社会福祉協議会 / 広報

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

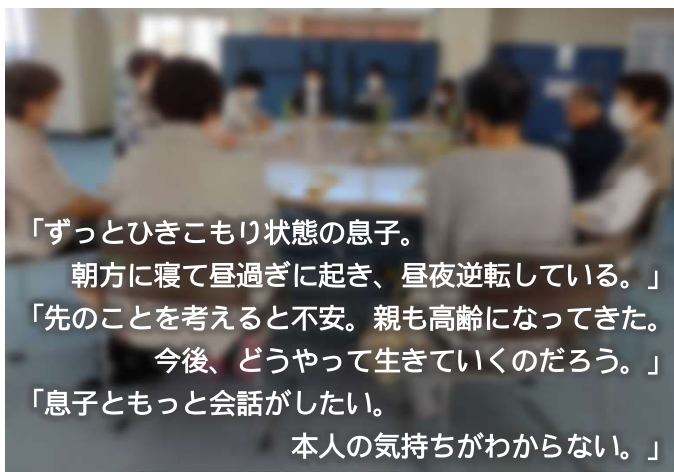
FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに...それが社会福祉協議会の目標です。

これらは、不登校・ひきこもり家族会サルビアの会の会員の声です。他ではなかなか話せない家族のひきこもりのことを、本音で話し合える場として、月1回のペースで定例会を開いています。



「ずっとひきこもり状態の息子。朝方に寝て昼過ぎに起き、昼夜逆転している。」
「先のことを考えると不安。親も高齢になってきた。今後、どうやって生きていくのだろう。」
「息子ともっと会話がしたい。本人の気持ちがわからない。」

不登校・ひきこもりの家族会サルビアの会
ひきこもりを終えたいと思ったとき
何かきっかけが欲しいときに

家族会に参加するようになって以降、ひきこもり本人の状況が好転したという人も少なくありません。「生きているだけで丸儲け、と思えるようになった時から、息子の雰囲気も柔らかくなっていった」という会員もいます。家族会の存在が、何かのきっかけになっているようです。ひきこもりは悪くはありませんが、

「生きているだけで丸儲け」
家族会が何かのきっかけに

サルビアの会は平成27年に結成されました。定例会では、家族同士が交流し、互いの悩みや喜びを話し合ってきました。現在は学習会を主の活動としており、会員の思いや悩みに合わせて学習の内容を決めています。

毎月の定例会
現在の主活動は学習会！

ひきこもり家族相談会

日時 1月16日(木) 13:00~16:00
予約 1月9日(木) 17:00まで
1日限定3組、匿名可
場所 筑後市総合福祉センター
(原則来所での相談)

不登校・ひきこもりの家族会サルビアの会 定例会

日時 1月11日(土) 14:00~15:30
内容 家族同士の交流会
場所 筑後市総合福祉センター

ひきこもりを終えたいと思ったとき、何か手伝えることがないか。家族会活動は今年も続きます。

申込み・問合せ 筑後市社会福祉協議会(筑後市野町680-1)
☎ 0942-52-3969 ☎ 0942-53-6677 ✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

どうする？次の地域活動の担い手

若い世代を巻き込むには



12月4日（水）に、校区の福祉を担当する校区福祉会連絡協議会役員の研修会が開催されました。

講師には、MOTTOひょうごの木剛さんをお迎えし、「地域活動の担い手を増やしていくために」をテーマにお話していただきました。

ハードルを下げ

肩の荷を下ろす

全国的に活動の担い手が見つから

ず困っているという話を聞きます。誰か一人が頑張ると、「あの人のようには出来ない」と次の担い手が見つからないこともあります。みんなで話し合っって役割を分担し、次の世代のためにも、減らすことを考える時期なのかもしれません。今、活動している皆さんが、肩の荷を下ろし、楽しく活動することが何より大切なのです。

ちょっとしたお手伝いから

地域活動を知ってもらう

総会資料づくりや会計のエクセル入力などの苦手なパソコン操作だけ若い世代にお願いしてみる。そうするうちに、活動内容を知り、「そんなに大変なことではないし、楽しそう」と、徐々に地域活動に参加してもらおうようになったというケースもあります。

得意なことからお願ひしてみること、後の担い手が見つかるかもしれません。

福岡点字図書館視察研修



11月21日（木）音訳ボランティアグループみずぐるまは、福岡点字図書館（クローバープラザ内）へ視察研修へ行きました。

館長の夏秋さんより、実際に点訳・音訳図書が完成するまでの流れや図書館を利用する方法などの話がありました。また、「点字図書・音訳図書が無料で利用できるのは、ボランティアの皆さんの協力のおかげです」「点字図書館を知らない人と、もっと繋がっていきたいです」とも話をされ、みずぐるまの今後の音訳活動についても考える有意義な時間となりました。

フリースペース内職シェア
ふらっとスペース



毎週水・金曜日に開所しているふらっとスペースは、不登校やひきこもりがちな方の居場所・内職スペースです。

内職に加え、可愛い雑貨づくりやイベント時の販売などさまざまなことにチャレンジを広げています。


誰かとおしゃべりしたいときに、ちょっと家を出て過ごしてみたいときに、ふらっとお越しください。お待ちしております。

開所日 毎週水・金曜日 14:00~16:00

場所 筑後市総合福祉センター 研修室

この広報紙は、点訳・音訳版も発行しています。ご希望の際は気軽にお尋ねください。

子どもが好きな方、一緒に楽しく働きませんか？ 地域学童保育所職員募集


職種	放課後児童支援員	
勤務時間等	月～土曜日、1日5時間（延長の場合あり）（平日13：00～18：00、土曜日・長期休暇8：00～13：00又は13：00～18：00）	
休日	日祝日、8月13日～8月15日、12月29日～1月3日（有給、介護育児休業あり）	
給与	月給144,000円、処遇改善手当13,000円、キャリアアップ手当5,000～15,000円、役職手当3,000～10,000円（別途、通勤手当・延長手当・賞与年2回・退職共済・福利厚生制度加入）	
資格・条件等	不問 ※ただし、放課後児童支援員認定資格取得者が望ましい（保育士、社会福祉士、2年以上の児童福祉従事経験者、幼稚園、小中学校の教員資格取得者等含む）。	
募集人員	2名程度	
応募	市販の履歴書に必要事項を記入し、下記へ提出（郵送・持参）してください。 ※資格取得者は資格証明書または見込みの証明書の写しを添付。	
申込み締切	令和7年1月31日（金） 17時必着	
採用試験	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：面接 ・試験日時：2月8日（土）9：00～ ・会場：筑後市総合福祉センター 	
採用予定日	令和7年4月1日（火）	

介護家族の会コスモス 健康体操

- 日時** 1月26日（日）
10：00～12：00
- 場所** 筑後市総合福祉センター
- 内容** 介護をしている方のための体操
- 対象** 実際に自宅で介護をしている方



子育て世代を食で応援！

- 

市民の皆様から寄付いただいた食品（お米、インスタント食品、乾麺、調味料、フリーズドライスープ類など）を無料配布します。

- 日時** 1月10日（金）17：30～18：30
- 対象** 小中学生の子どもがいる世帯
- 場所** 筑後市総合福祉センター

- 数に限りがあります。無くなり次第終了します。
- 1世帯1セットの配布です
- 筑後市在住の方に限ります
- ひとり親家庭の方は除きます。
- 偶数月第2週目に実施するひとり親家庭のための「フードパントリー」をぜひご利用ください。
- 事前の申込みは不要です。直接お越しください。

ひまわりのつどい 視察研修

- 日時** 1月19日（日）
8：30 集合・出発 16：00帰着
- 集合場所** 筑後市総合福祉センター
- 内容** 視察研修
しののめ福祉会（福岡市）
- 対象** 精神障害のある方・家族の方
- 申込締切** 1月10日（金）まで

申込み・問合せ 筑後市社会福祉協議会（筑後市野町680-1筑後市総合福祉センター内）

☎ 0942-52-3969 ☎ 0942-53-6677 ✉ info@chikugo-shakyo.or.jp

🍷 この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

田中久登様 (故 順子様) 上富久
 中嶋ハツ子様 (故 徹夫様) 熊野
 小山敬介様 (故 哲司様) 尾島
 下川寿美子様 (故 満男様) 折地
 中富智規様 (故 與曾吉様) 井田下
 佐藤千恵子様 (故 三夫様) 長浜
 井口節夫様 (故 久子様) 藤島

★ 計一三三、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

○立山康弘様(和泉中)、匿名様から野菜の寄付がありました。
 ○小塩博文様(八女市)からみかんの寄付がありました。
 ○渡辺喜美様(水田上)から米の寄付がありました。
 ○田中久登様(上富久)から紙オムツの寄付がありました。
 ○JAふくおか八女女性部様、匿名様から食品の寄付がありました。
 ○ユーコーラッキー37筑後店様(長浜)からお菓子の寄付がありました。
 ○お食事処えぐち様(水田中)からべ

筑後市社会福祉協議会公式LINE 友達登録と受信設定を お願いします!

公式LINEでは、リアルタイムな情報を配信しています。友達追加後、受信設定を行うことで情報を受け取ることができます。



ありがとうございます！



ピーオムツ、シルバーカーの寄付がありました。
 ○匿名様からシャンプー他の寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野様(前)から野菜の寄付がありました。
 ○(株)プレシア様(下北島)からお菓子の寄付がありました。
【いずれも11月1日〜11月30日まで】

JAふくおか八女 女性部様よりご寄付



食品・日用品などをご寄付いただきました。地域食堂などで活用させていただきます。ありがとうございます！

事務局通信

数年前、歴史が好きな家族に連れられ、愛媛旅行で正岡子規記念館へ行きました。

両親とは違い、歴史にあまり関心がない私の正岡子規のイメージは、「印象的な横顔の写真」と、「結核で亡くなった有名な俳人」というものだけでした。

幼少期から亡くなるまでのさまざままなエピソードが工夫を凝らし展示され、夢中になって気づけば2時間も滞在していました。

帰るころには、正岡子規のイメージが、「どれだけ体調が悪くても食べたいものを食べる、食べることが好きな人」へと変わっていました。

「人として」知ること、親近感と興味を持ち、もっと知りたいと思う体験でした。

見た目や国籍、性別、経歴などで人を区別したり、無意識なイメージを持つてしまうことがあります。

しかし、知ろうとしてみると、イメージと異なる、沢山の気づきがあります。無意識なイメージを減らし、多くの人と「人として」関わることで、それが私の今年の目標です。(実)